

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長殿

【提出日】 2024年9月6日

【発行者名】 マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役 山本 真一

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号  
丸の内トラストタワーN館

【事務連絡者氏名】 谷澤 儀彦

【電話番号】 03-6267-1955

【届出の対象とした募集（売出）  
内国投資信託受益証券に係る  
ファンドの名称】 マニユライフ・厳選日本株ファンド  
2024年9月6日付でファンドの名称を「2.0 厳選日本株ファン  
ド」から「マニユライフ・厳選日本株ファンド」に変更しまし  
た。

【届出の対象とした募集（売出）  
内国投資信託受益証券の金額】 1兆円を上限とします。

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2024年6月20日をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の記載事項の一部を訂正するため、また関係情報の一部を新たな情報に訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

## 2【訂正の内容】

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部\_\_\_\_\_は訂正部分を示します。

### 第一部【証券情報】

#### （1）【ファンドの名称】

<訂正前>

##### 2.0 厳選日本株ファンド

上記ファンドを「当ファンド」または単に「ファンド」ということがあります。

<訂正後>

##### マニユライフ・厳選日本株ファンド

2024年9月6日付でファンドの名称を「2.0 厳選日本株ファンド」から変更しました。

上記ファンドを「当ファンド」または単に「ファンド」ということがあります。

#### （4）【発行（売出）価格】

<訂正前>

（略）

基準価額は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができるほか、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

ファンドの正式名称	新聞掲載略称
2.0 厳選日本株ファンド	厳選日本株

（以下略）

<訂正後>

（略）

基準価額は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができるほか、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

ファンドの正式名称	新聞掲載略称
マニユライフ・厳選日本株ファンド	厳選日本株

（以下略）

### 第二部【ファンド情報】

#### 第1【ファンドの状況】

##### 1【ファンドの性格】

###### （1）【ファンドの目的及び基本的性格】

<訂正前>

～ （略）

## ファンドの特色

## ファンドの特色

## 1 主としてわが国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行います。

- 確信度の高い30銘柄程度に厳選し、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
- 投資対象は大型株式に限定せず、流動性を考慮した上で中小型株式にも投資を行います。

## 2 ライフスタイルや経済構造の変化によって顕在化する需要に着目し、それらの恩恵を受けると考えられる企業に投資を行います。

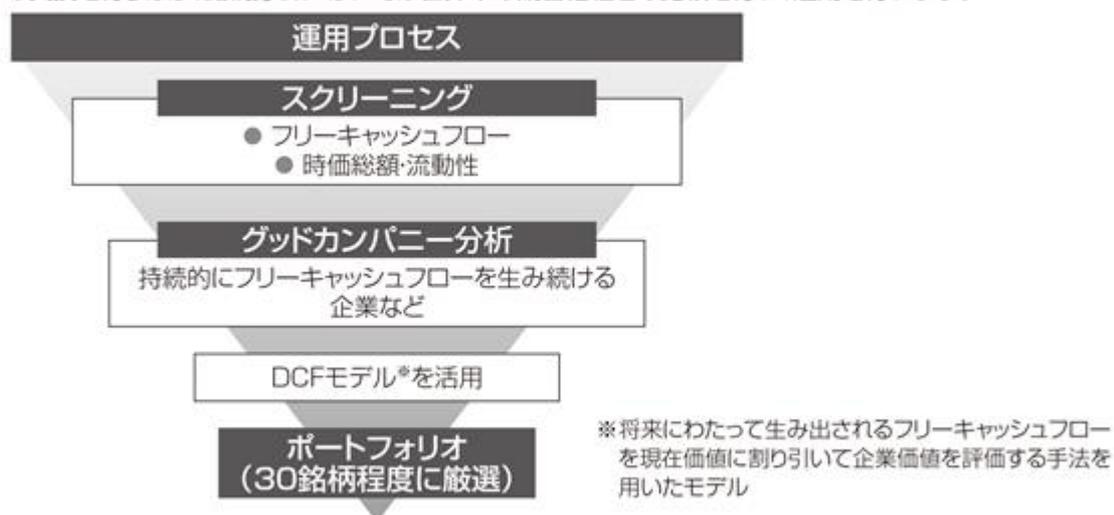
- ライフスタイルや経済構造の変化によって需要が顕在化するテーマを定め、各テーマにおいて成長が期待される企業に投資を行います。
- テーマについては、ライフスタイルや経済構造の変化に応じて、適宜見直しを行います。

## 3 運用にあたっては、独自の企業調査をもとに銘柄選定を行い、ポートフォリオを構築します。

- 銘柄選定にあたっては、フリーキャッシュフローを持続的に生みだすことが期待される銘柄を選定します。
- 海外拠点と連携し、海外の企業との比較分析を行うことによって、グローバルな視点で投資を行います。

## 運用プロセス

日本株式運用チームは、グローバル株式運用チームの一員として定期的にグローバルネットワークを活かして投資アイディアの交換を行うほか、銘柄分析においては世界中の競合他社との比較を行い、運用を行います。



※ファンドの運用にあたっては、マニュライフ・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドから運用助言を受けます。  
 ※運用プロセスは、今後変更となる場合があります。

資金動向・市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## ファンドの仕組み

当ファンドの運用は、ファミリーファンド方式で行います。ファミリーファンド方式とは、投資者（受益者）から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドに投資して、実質的な運用を行う仕組みです。



## 委託会社の概要

マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社は、グローバル金融サービスを提供するマニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションの一員として、日本で資産運用サービスを提供しています。

## 主な投資制限

- 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合には制限を設けません。
- 外貨建資産への投資は行いません。
- 投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- デリバティブ取引は行いません。

## 分配方針

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
- 収益分配額は、委託会社が基準価額の水準・市況動向等を勘案して決定しますが、信託財産の成長に資することに配慮して分配を行わないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

< 訂正後 >

～ （略）

ファンドの特色

## ファンドの特色

1

主としてわが国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行います。

- 確信度の高い銘柄に厳選投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
- 投資対象は大型株式に限定せず、流動性を考慮した上で中小型株式にも投資を行います。

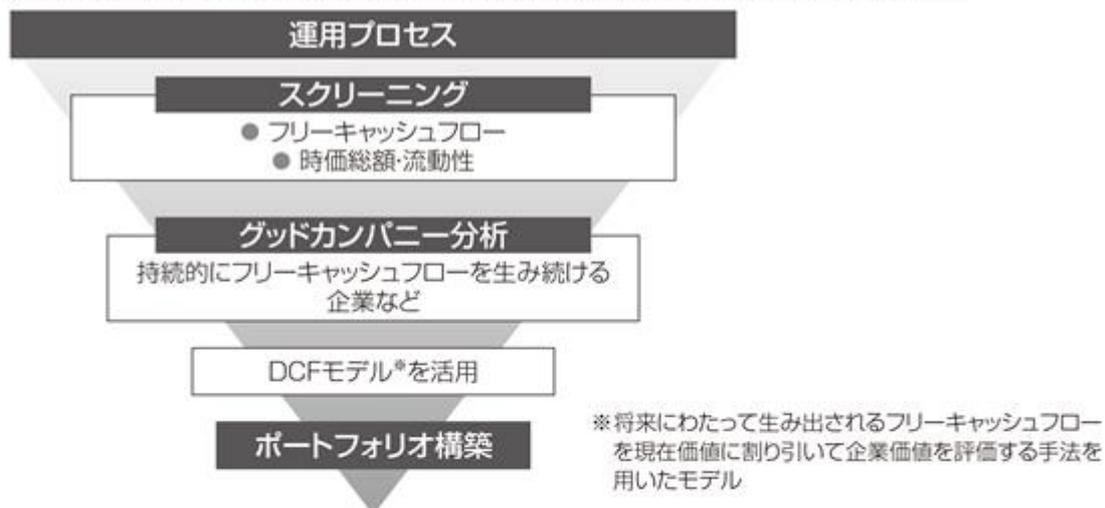
2

運用にあたっては、独自の企業調査をもとに銘柄選定を行い、ポートフォリオを構築します。

- 銘柄選定にあたっては、持続的な競争優位性とフリーキャッシュフロー創出力を有する銘柄を選定します。
- 海外拠点と連携し、海外の企業との比較分析を行うことによって、グローバルな視点で投資を行います。

## 運用プロセス

日本株式運用チームは、グローバル株式運用チームの一員として定期的にグローバルネットワークを活かして投資アイデアの交換を行うほか、銘柄分析においては世界中の競合他社との比較を行い、運用を行います。



※ファンドの運用にあたっては、マニユライフ・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドから運用助言を受けます。

※運用プロセスは、今後変更となる場合があります。

資金動向・市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## ファンドの仕組み

当ファンドの運用は、ファミリーファンド方式で行います。ファミリーファンド方式とは、投資者（受益者）から投資された資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドに投資して、実質的な運用を行う仕組みです。



## 委託会社の概要

マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社は、グローバル金融サービスを提供するマニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションの一員として、日本で資産運用サービスを提供しています。

## 主な投資制限

- 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合には制限を設けません。
- 外貨建資産への投資は行いません。
- 投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- デリバティブ取引は行いません。

## 分配方針

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
- 収益分配額は、委託会社が基準価額の水準・市況動向等を勘案して決定しますが、信託財産の成長に資することに配慮して分配を行わないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

## (2) 【ファンドの沿革】

## &lt;訂正前&gt;

2020年9月1日 当初設定日、信託契約締結、運用開始

## &lt;訂正後&gt;

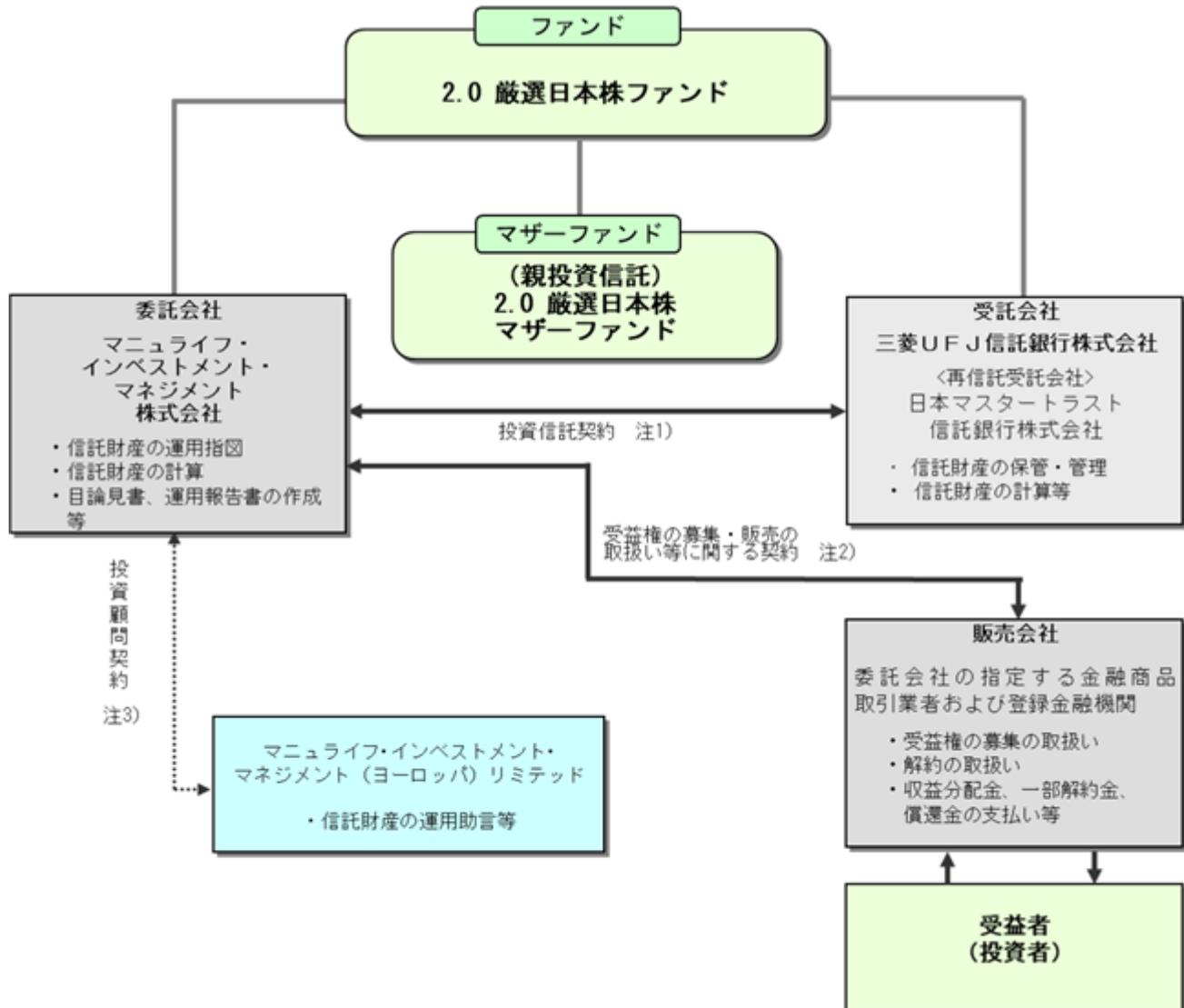
2020年9月1日 当初設定日、信託契約締結、運用開始

2024年9月6日 ファンドの名称を「2.0 厳選日本株ファンド」から「マニユライフ・厳選日本株ファンド」に変更

## (3) 【ファンドの仕組み】

## &lt;訂正前&gt;

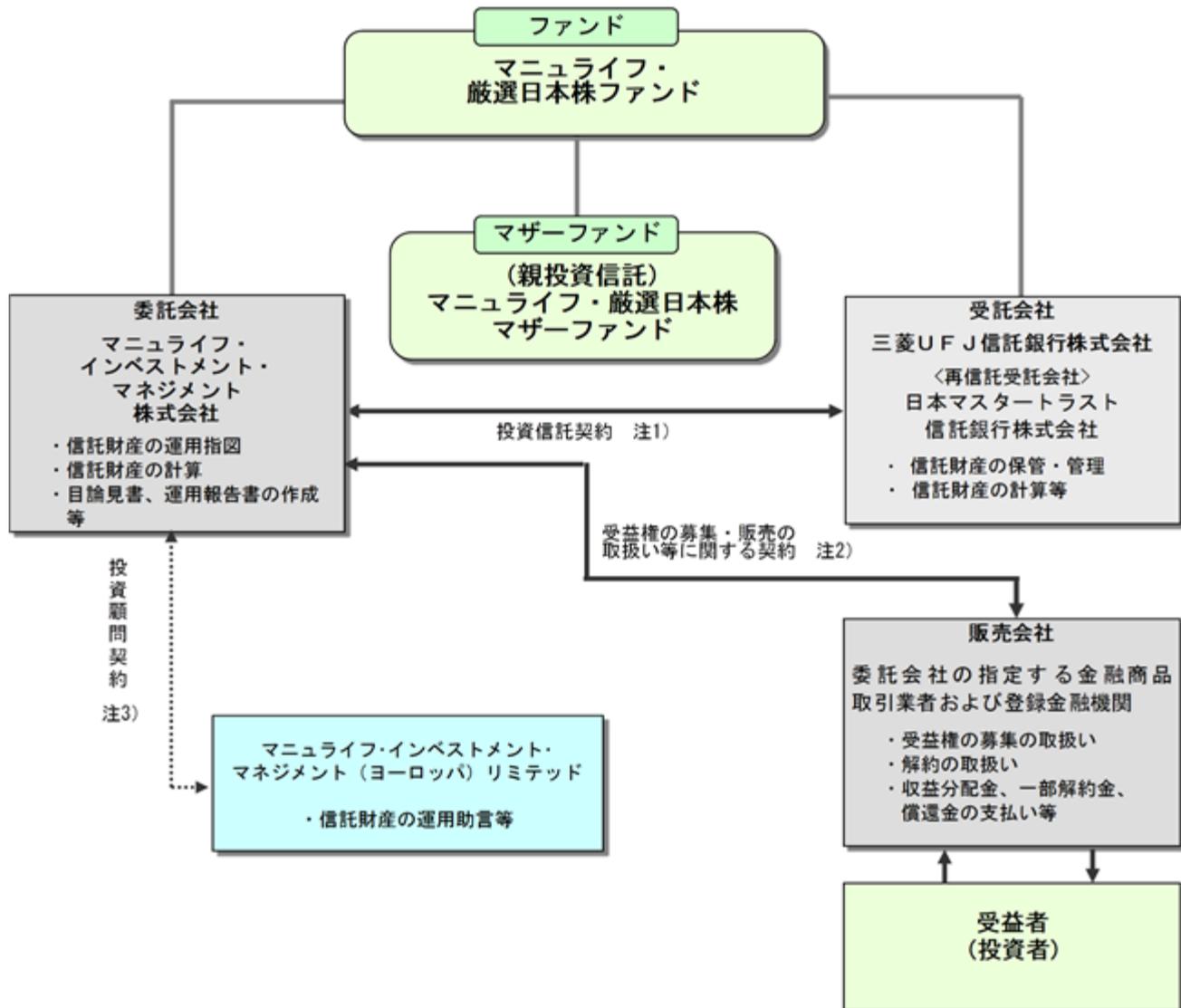
委託会社・ファンドの関係法人の役割



(以下略)

## &lt;訂正後&gt;

委託会社・ファンドの関係法人の役割



(以下略)

## 2【投資方針】

### (1)【投資方針】

<訂正前>

主要投資対象

主として2.0 厳選日本株マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券を投資対象とします。

(以下略)

<訂正後>

主要投資対象

主としてマニユライフ・厳選日本株マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券を投資対象とします。

(以下略)

### 3【投資リスク】

<訂正前>

(1) 投資リスク

(略)

<主な変動要因>

株価変動リスク

(略)

集中投資リスク

ファンドは実質的に少数の銘柄に集中投資を行うため、多くの銘柄に分散投資を行った場合と比較して、1銘柄の株価変動による影響が大きくなる可能性があります。ファンドの基準価額は、日本の株式市場全体の平均的な値動きにかかわらず、より大きく変動する場合や、市場全体の動きとは異なる動きをする場合があります。投資対象とする特定の銘柄を大量に売却しなければならなくなった場合、市場動向や取引量の状況によっては、不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があります。ファンドの基準価額が下落する要因となります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下で取引を行えない、または取引が不可能となる場合は、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。特に流動性の低い有価証券等を売却する場合にはその影響を受け、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

(以下略)

<訂正後>

(1) 投資リスク

(略)

<主な変動要因>

株価変動リスク

(略)

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下で取引を行えない、または取引が不可能となる場合は、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。特に流動性の低い有価証券等を売却する場合にはその影響を受け、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

集中投資リスク

ファンドは実質的に少数の銘柄に集中投資を行う場合があり、多くの銘柄に分散投資を行った場合と比較して、1銘柄の株価変動による影響が大きくなる可能性があります。ファンドの基準価額は、日本の株式市場全体の平均的な値動きにかかわらず、より大きく変動する場合や、市場全体の動きとは異なる動きをする場合があります。投資対象とする特定の銘柄を大量に売却しなければならなくなった場合、市場動向や取引量の状況によっては、不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があります。ファンドの基準価額が下落する要因となります。

(以下略)

## 5【運用状況】

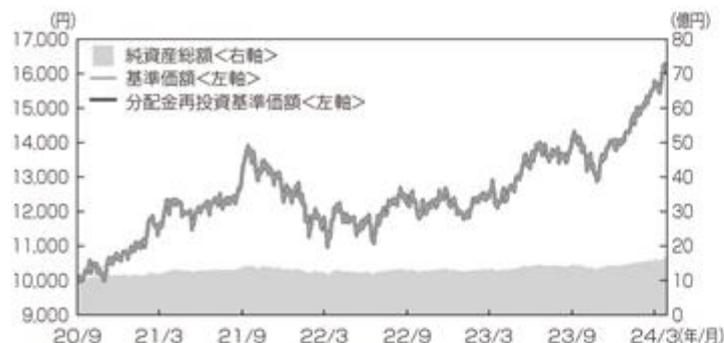
（参考情報）を以下の記載内容に更新・訂正いたします。

## &lt;更新・訂正後&gt;

※運用実績は2024年3月29日現在のデータです。2024年9月6日付の「ファンドの特色」の変更に伴い、テーマ別構成比の円グラフおよび組入上位10銘柄のテーマ分類は今後削除されます。

## 基準価額・純資産の推移

2024年3月29日現在



※基準価額、分配金再投資基準価額は、信託報酬等控除後の値です。  
 ※分配金再投資基準価額は、税引き前分配金を全額再投資したものと計算しています。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額	16,250円
純資産総額	16.6億円

## 分配の推移（1万口当たり、税引前）

—	—
—	—
2021年9月	0円
2022年9月	0円
2023年9月	0円
直近1年間合計	0円
設定来合計	0円

※分配実績は、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆または保証するものではありません。分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

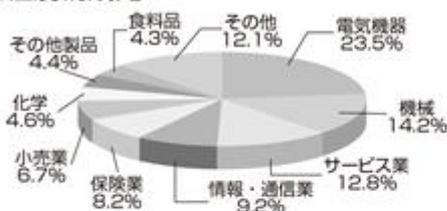
## 主な資産の状況

●マザーファンドの資産の状況を記載しています。

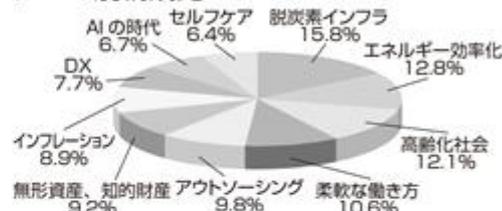
## 資産別構成比

資産別	比率
株式等	98.2%
現預金等	1.8%

## 業種別構成比



## テーマ別構成比



※資産別構成比は純資産総額に対する比率です。  
 ※業種別構成比、テーマ別構成比は現物株式評価額に対する比率です。  
 ※業種は東証33業種分類としています。  
 ※テーマはマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社による独自の分類としています。  
 ※資産別構成比、業種別構成比、テーマ別構成比は数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。

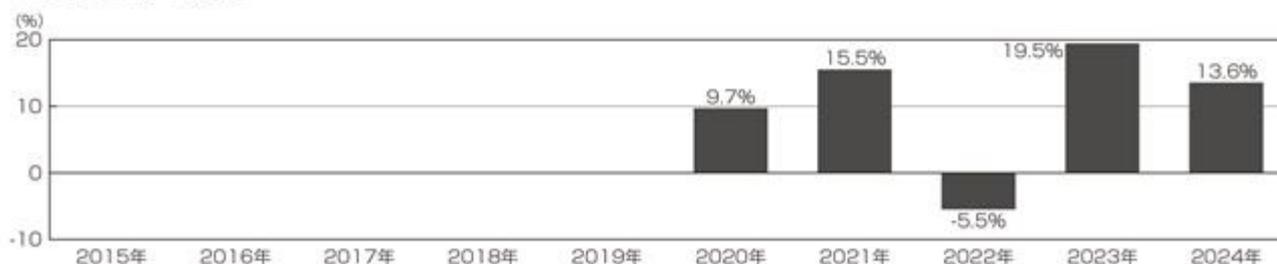
## 組入上位10銘柄

(組入数:30銘柄)

順位	銘柄名	業種	テーマ	組入比率
1	SOMPOホールディングス	保険業	高齢化社会	5.2%
2	日本電気	電気機器	DX	5.1%
3	ソニーグループ	電気機器	無形資産、知的財産	4.8%
4	東京応化工業	化学	AIの時代	4.5%
5	ZOZO	小売業	インフレーション	4.5%
6	インターネットイニシアティブ	情報・通信業	柔軟な働き方	4.4%
7	サントリー食品インターナショナル	食料品	セルフケア	4.2%
8	小松製作所	機械	インフレーション	4.2%
9	九電工	建設業	脱炭素インフラ	4.2%
10	富士電機	電気機器	エネルギー効率化	4.0%

※業種は東証33業種分類としています。  
 ※テーマはマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社による独自の分類としています。  
 ※組入比率は純資産総額に対する比率です。  
 ※当資料に記載された個別の銘柄・企業名は参考情報であり、当社が特定の有価証券等の取得勧誘や売買推奨を行うものではありません。また、将来の組入れを示唆または保証するものではありません。

## 年間収益率の推移



※2020年は設定日から2020年12月末までの収益率です。  
 ※2024年は年初から運用実績作成基準日までの収益率です。  
 ※ファンドの年間収益率は税引き前分配金を全額再投資したものと計算しています。  
 ※当ファンドにベンチマークはありません。

最新の運用実績は委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

ファンドの運用実績は、あくまでも過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。



## 第2【管理及び運営】

## 1【申込（販売）手続等】

&lt;訂正前&gt;

～（略）

申込価額

取得申込受付日の基準価額とします。

なお、収益分配金の再投資については、各計算期間終了日の基準価額とします。

基準価額は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができるほか、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

ファンドの正式名称	新聞掲載略称
2.0 厳選日本株ファンド	厳選日本株

（以下略）

&lt;訂正後&gt;

～（略）

申込価額

取得申込受付日の基準価額とします。

なお、収益分配金の再投資については、各計算期間終了日の基準価額とします。

基準価額は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができるほか、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に掲載されます。

ファンドの正式名称	新聞掲載略称
マニユライフ・厳選日本株ファンド	厳選日本株

（以下略）